



日医発第 1549 号(情シ)(技術)
令和 6 年 12 月 10 日

都道府県医師会 担当理事 殿
郡市区等医師会 担当理事 殿

公益社団法人 日本医師会
常任理事 長島 公之
常任理事 宮川 政昭
(公印省略)

電子処方箋の導入・活用課題等に関する医師・歯科医師向けの
アンケート回答について(協力依頼)

平素より本会会務の運営に特段のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
電子処方箋の普及に向けた課題抽出及び電子処方箋管理サービスの周知広報、
機能開発等のために、電子処方箋の導入・活用課題等に関するアンケートが実施
されることとなり、その周知依頼が厚生労働省より本会宛にまいりました。

日本医師会としても、是非、現場の先生方の率直な意見を厚生労働省に伝えて
いただきたいと考えておりますので、貴会におかれましても、本件についてご了
知いただくと共に、貴会管下の郡市区等医師会ならびに会員への周知方につき、
ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

以上

【回答方法】

令和6年12月9日に医療機関等向け総合ポータルサイトより医療機関に対し
て配信されるメールに記載の URL、又は下記の URL より回答願います。

アンケートフォーム：<https://forms.gle/GFK9CU2NBqSXrb2Y8>

上記 URL の QR コード：



【回答期間】

令和6年12月9日(月)から12月15日(日)まで

【その他】

- ・アンケートについては、医師、歯科医師の方にお答えいただきますようお願い
致します。
- ・勤務している医師・歯科医師が複数いる場合は代表の方がお答えください。

小郡三井医師会より

医療保険担当理事 肥山淳一郎
会長 島田昇二郎

事 務 連 絡
令和 6 年 12 月 6 日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省医薬局総務課

電子処方箋の導入・活用課題等に関する医師・歯科医師向けのアンケート回答について（協力依頼）

日頃より、厚生労働行政に対する御理解・御協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、電子処方箋の普及に向けた課題抽出及び電子処方箋管理サービスの周知広報、機能開発等のために、下記のとおりアンケートを実施いたします。

つきましては、貴会会員の医療機関に対して、本件の周知及び協力依頼をしていただきますようお願いいたします。

記

1、回答方法

令和 6 年 12 月 9 日に医療機関等向け総合ポータルサイトより医療機関に対して配信されるメールに記載の URL 又は下記の URL より回答願います。

アンケートフォーム：<https://forms.gle/GFK9CU2NBqSXrb2Y8>

2、回答期間

令和 6 年 12 月 9 日（月）から 12 月 15 日（日）まで

3、その他

- ・ アンケートについては、医師、歯科医師の方にお答えいただきますようお願い致します。
- ・ 勤務している医師・歯科医師が複数いる場合は代表の方がお答えください。

以上

(1) あなたの医療機関がある都道府県を選択してください。

(2) 医療機関種別を選択してください。

- ① 医科
- ② 歯科
- ③ 医科・歯科いずれも有している

(3) 医療機関種別を選択してください。

- ① 大規模病院 (200 床以上)
- ② 病院 (20 床以上 200 床未満)
- ③ 診療所 (0～19 床)

(4) あなたの医療機関では電子処方箋システムを導入していますか。

- ① 導入している
- ② 導入していない

(4) で①を選択した場合

(5-1) (4) で「導入している」と回答した医療機関にお聞きします。電子処方箋システムを導入した（導入する）ことによるメリットは何を感じていますか。（複数選択可）

- ① 直近の処方情報、調剤情報の確認や重複投薬・併用禁忌のチェックができ、医療安全・医療の質向上に繋がる
 - ② ペーパーレス化が促進する
 - ③ 業務の効率化につながる
 - ④ 患者の利便性が向上する
 - ⑤ 調剤をした薬局からの調剤結果やコメントを確認することができ、情報連携の質の向上につながる
 - ⑥ オンライン診療の際に、調剤を行った薬局への処方箋原本送付の手間がなくなる
 - ⑦ 医療 DX 推進体制整備加算が算定できる
 - ⑧ 特になし
- その他: ()

(5-2) 電子処方箋システムを導入した（導入する）ことによるデメリットは何を感じていますか。（複数選択可）

- ① 電子カルテのレスポンスが悪くなる
 - ② ランニングコストがかかる
 - ③ 電子と紙が共存することにより業務が煩雑化する
 - ④ システムのメンテナンスや不具合等のトラブルシューティングの業務負担が増えた
 - ⑤ 患者さんへの説明に時間がかかる
 - ⑥ 電子処方箋を希望する患者さんが少ない
 - ⑦ 周辺の全ての薬局が導入していないため、電子処方箋対応薬局への案内が必要である
 - ⑧ 特になし
- その他: ()

(5-3) 電子処方箋システムの導入前と導入後に比べて質の高い医療が提供できるようになったと考えますか。

- ① はい
- ② いいえ
- ③ わからない

(5-4) 電子処方箋システムの導入前と導入後で業務負担の変化はありましたか。

- ① 減った
- ② やや減った
- ③ 変わらない
- ④ やや増えた
- ⑤ 増えた

(5-5) 導入した電子処方箋システムにおいて、電子署名の方式はどれですか。

- ① HPKI カードを用いる方法 (ローカル署名)
- ② 本人認証を行った上で HPKI セカンド電子証明書を用いる方法 (リモート署名)
- ③ ローカル署名・リモート署名の両方

(4) で②を選択した場合

(5-1)(4) で「導入していない」と回答した医療機関にお聞きします。電子処方箋システムを導入していない理由は何ですか。(複数選択可)

- ① ベンダへ依頼しているが、導入できていない
 - ② システム改修費用やランニングコストが高額であるため
 - ③ 周辺薬局が電子処方箋に対応していないため
 - ④ システムの導入や改修を行う時間的余裕がないため
 - ⑤ ICT に詳しいスタッフがいらない、または不足しており、対応が困難なため
 - ⑥ 電子カルテを導入していないため
 - ⑦ 電子カルテの更新時期と合わせて導入する予定
 - ⑧ 院内処方を行っているため
 - ⑨ 導入するメリットを感じないため
- その他: ()

(5-2) いつ電子処方箋システムを導入することを考えていますか。*

- ① 令和7年3月まで
 - ② 令和8年3月まで
 - ③ 令和9年3月まで
 - ④ 令和9年4月以降
 - ⑤ 現時点で導入予定はない
- その他: ()

(6) あなたの医療機関では患者さんが他の医療機関・薬局で処方・調剤された薬の情報についてどのように確認を行っていますか。(複数選択可)

- ① お薬手帳（電子版含む）による確認
 - ② マイナ保険証による過去情報閲覧による確認
 - ③ 受付時の問診票による確認
 - ④ 患者への口頭による確認
 - ⑤ 院内のカルテ情報等による確認
 - ⑥ 周辺薬局から提供された情報による確認
 - ⑦ 確認していない
- その他: ()

(7) 電子処方箋システムを導入すれば、マイナ保険証による過去情報閲覧の同意のもと、レセプト由来の約一ヶ月遅れの情報のみならず、電子処方箋管理サービス由来の直近の処方・調剤された薬剤情報を確認することができます。直近の薬剤情報は診療に役に立つと考えますか。

- ① 役に立つ
- ② 役に立つと思うが、電子処方箋システムの導入のコストに見合わない
- ③ 役に立たない
- ④ わからない

(8) あなたの医療機関では HPKI セカンド電子証明書の先行発行を受けたが、現在、HPKI カード待ちの状態で HPKI カードが手元にない方はいますか。

- ① いる。(次の質問で具体的な人数を教えてください。)
- ② いない。

(8-1) 「①いる」と回答した医療機関にお聞きします。具体的な人数を教えてください。
